

「第 10 期環境保健調査研究課題」の公募による委託先の決定について

平成 26 年 7 月 14 日
独立行政法人環境再生保全機構
予防事業部事業課

「第 10 期環境保健調査研究課題」の委託先を選定するにあたり、平成 26 年 4 月 15 日から 5 月 16 日までの期間をもって公募を行ったところ、32 件の応募がありました。

応募のあった調査研究計画書について、公害健康被害予防事業調査研究評価委員会（環境保健分野）の評価結果を基に、別記の 10 件について採択することを決定いたしましたので、お知らせします。

【担当】

独立行政法人環境再生保全機構
予防事業部事業課
担当：坂本、大神、田中
TEL：044-520-9567
FAX：044-520-2134

第10期環境保健調査研究課題一覧

| 分野 | | 調査研究課題名 | 研究代表者 | 所属 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--|-------|----------------|
| (1) 気管支ぜん息の発症、増悪予防に関する調査研究 | ①乳幼児期のぜん息ハイリスク群へのフォローアップ指導のあり方 | 気管支ぜん息の発症、増悪予防に関する調査研究 | 望月 博之 | 東海大学 |
| | ②アレルギー疾患の進展予防・管理によるぜん息の発症、増悪の予防、改善効果 | 新生児からの皮膚および腸管環境の整備に基づく吸入アレルギー感作・ぜん息・ぜん息発症の予防に関する研究 | 下条 直樹 | 千葉大学大学院 |
| | | アレルギー予防教室・アトピー相談事業を介したぜん息の発症、増悪の予防、改善効果に関する研究 | 新宅 治夫 | 大阪市立大学大学院 |
| | ③環境因子による増悪予防のための健康管理手法 | 微小粒子状物質(PM2.5)をはじめとする大気汚染物質に高感受性を示すぜん息群の抽出とその増悪予防のための効率的な健康管理手法の確立に関する調査研究 | 滝澤 始 | 杏林大学 |
| | | PM2.5のぜん息・ぜん息発症への影響と対応措置の評価 | 足立 雄一 | 富山大学 |
| (2) 気管支ぜん息・COPD患者の日常生活の管理、指導に関する調査研究 | ①就学期の患者の効果的な教育、指導モデルの構築 | 就学期の患者の効果的な教育、指導モデルの構築 | 小田嶋 博 | 国立病院機構福岡病院 |
| | ②患者教育実践指導のための指導者育成システムの開発及び基盤整備 | アレルギー専門患者指導のための指導者育成システムの開発および基盤整備 | 赤澤 晃 | 東京都立小児総合医療センター |
| | ③客観的指標によるアドヒアランスの評価 | 小児気管支ぜん息の自己管理支援に資する新しい客観的なアドヒアランス評価指標の開発と確立に関する調査研究 | 藤澤 隆夫 | 国立病院機構三重病院 |
| | ④COPDの重症化防止のための効果的なセルフマネジメント教育の実践・普及 | タブレットPCを用いた教育ツールの開発とCOPDエデュケーター育成による効果的なセルフマネジメント教育の実践・普及に関する調査研究 | 植木 純 | 順天堂大学 |
| (3) 気管支ぜん息の動向等に関する調査研究 | ①気管支ぜん息患者の長期経過及び変動要因 | 気管支ぜん息の動向等に関する調査研究 | 谷口 正実 | 国立病院機構相模原病院 |